

会 議 録

会議の名称	第 19 回 茨木市中心市街地活性化協議会
開催日時	令和 5 年 4 月 26 日(水曜日) 開始 15:30～終了 16:15
開催場所	茨木市役所 本館 4 階 理事者控室南側会議室
出席者	<p>〔協議会構成員〕</p> <p>加藤 眞一 (FIC ベース株式会社 代表取締役) (協議会会長)</p> <p>笹井 直木 (茨木商工会議所 専務理事) (協議会副会長)</p> <p>秋元 隆二 (茨木市 都市整備部 部長) (協議会副会長)</p> <p>森 道哉 (立命館大学 政策科学部 教授)</p> <p>山本 博史 (追手門学院大学 地域創造学部 教授)</p> <p>山田 久敬 (茨木市商業団体連合会 会長)</p> <p style="text-align: right;">(以上、計 6 名)</p> <p>〔茨木商工会議所中小企業振興部 次長〕 中野 拓二</p> <p>〔FIC ベース株式会社〕 山口 富士夫</p> <p>〔茨木市産業環境部商工労政課長〕 河原 勝利</p> <p>〔茨木市都市整備部 次長 兼 市街地新生課長〕 吉備 眞人</p> <p>〔茨木市都市整備部市街地新生課 参事〕 藤後 学</p> <p>〔茨木市都市整備部市街地新生課 課長代理 兼 市街地 A グループ長〕 辻井 啓悟</p> <p>〔茨木市都市整備部市街地新生課〕 前田 浩貴</p> <p style="text-align: right;">吉川 小百合</p> <p>〔ランドブレイン株式会社〕 西村 花織</p>
議題	1. 中心市街地活性化基本計画フォローアップについて
配布資料	(資料 1) 茨木市中心市街地活性化協議会参加者名簿 (資料 2) 茨木市中心市街地活性化基本計画フォローアップ報告 (案)
議 題 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
(1) 開会	
茨木市	只今から第 19 回茨木市中心市街地活性化協議会を開会する。本日は委員 2 名より、欠席の連絡をいただいている。それでは開会に先立ち、会長の加藤様からご挨拶を頂戴する。
加藤会長	(あいさつ)
茨木市	茨木市中心市街地活性化協議会規約より、以後の議事進行を加藤会長にお願いする。
加藤会長	本日は委員総数 8 名に対し、参加者が 6 名のため、協議会は成立している。人事異動等に伴い新たに就任された笹井副会長から一言、挨拶をお願いする。 (笹井副会長あいさつ)
加藤会長	それでは本日の議題に入る。 1 つ目の議題は、茨木市中心市街地活性化基本計画に対するフォローアップについて、事業の進捗状況や目標の達成状況などを自己評価し、協議会委員の意見を記載したものを内閣府に報告するため、委員の意見を求めるものである。事務局から事前に

資料を送付していると思うが、内容について、市および報告案を作成したランドブレイン株式会社に説明をお願いする。

(2) 議題1 茨木市中心市街地活性化基本計画フォローアップについて

ランドブレイン株式会社

(資料説明)

加藤会長 茨木市中心市街地活性化基本計画フォローアップについて説明があったが、意見や質問はあるか。まず私から質問させていただくが、公共空間活用の件数に暫定広場の IBALAB@広場活用件数が入っていない理由は、

ランドブレイン株式会社 計画策定時になかったため調査対象に盛り込んでおらず、その後も調査対象の変更を行っていないためである。IBALAB@広場の活用についても記載した方が良い内容であるので、文中に記載している。

加藤会長 道路空間活用について、スカイパレットは歩道空間のため法的なハードルが高く、イベントで使いづらい状況。コンテナカフェを起爆剤に、利用数が増えれば良いと思っている。

森委員 私も加藤会長と同じ疑問を持ったが、IBALAB@広場が令和元年時点でなかったということで了解した。全体的な内容には合意するが、16ページの「公共空間活用件数」の調査対象については見直しが必要かもしれない。新たに指標を足し、比較対象を保つという考えもある。

もう一点、歩行者通行量についてだが、全体で7,500人くらい増えているのはコロナと別の影響と思われる。資料では令和3年度との比較をしているが、改めて基準値の関係を比較検討していただきたい。

秋元副会長 私も同意見で、IBALAB@広場の活用件数が計上できないのは惜しい。中心市街地のポテンシャルはあると感じている。公共空間活用の件数はおにクルが11月にできるので、最終の令和6年度には目標値をクリアできるのではないか。そこも含め、経過の中でIBALAB@広場の状況については留意していきたい。もう一点、新規出店数については、FICベースのクリエイターズマーケット整備事業等も寄与しているが、底支えしているのは創業支援の補助金、主に創業促進事業補助金である。FICベースの事業においてはなかなか達成が厳しい状況であるが、FICベースの取締役としても次にどう繋げるかは留意していきたい。

笹井副会長 P11の歩行者通行量について、本通り商店街の城跡方面が増えている。omo café+cのオープンも影響しているのか。

山本委員 omo café+cと周辺でも店舗が複数オープンしている。

加藤会長 周辺のハンバーガー店やラーメン店等の飲食店も偶然ほぼ同時にオープンしており、タイミングがよかった。各店舗の来客数を合わせればそれなりの人数になる。

笹井副会長 それらを目的に来る人の流れの成果と思われる。

山本委員 P5の新規出店数については、令和元年から6年までの平均値が目標値になるのか。

ランドブレイン株式会社 その通りである。

山本委員

そうなると目標値達成はなかなか厳しい。

- 加藤会長 新規出店はどのあたりをカウントしているのか。
- ランドブレイク株式会社 計画に記載した事業によるアクションで出店した店舗をカウントし、自然発生は入っていない。
- 加藤会長 市長の新年互礼会のあいさつの中で、高槻市は3倍くらい茨木より商店数が多い、茨木も頑張らましようという話があった。まちづくり会社の社長をしていて色々な方の意見を聞くが、茨木はチェーン店が少なく、昔から頑張っている個人店が多い。輝いている店舗が多いという前向きな意見があった。美容室経営をしている知人からも、茨木で成功したら銀座でもどこでも成功できるくらい激戦区。そこで開業することでレベルが上がっていくのだと聞いている。数より質重視ということで希望を持ってやっている。
- 山田委員 コロナが落ち着いてきたので売上は上がるだろうと思ったが、現実は今までの借り入れ返済等もあり苦しい。我々の商店会でも店舗が減っている。商団連についても会費を下げたが、半分にしても苦しいと聞いている。何か秘策はないかと考えながら、コロナも開けるので希望を持ってやっていきたい。皆様でしっかり計画をお願いしたい。
- 山本委員 コンテナカフェの店名の表記はこれでいいのか。
- 山口 カフェの正式な屋号なので問題ない。
- 加藤会長 余談だが、カフェの運営は好調で、出店者から店舗数を増やしたいという声も聞いている。酷暑期や極寒期にどうなるかはまだ分からないところではあるが。
- 森委員 P10、11の歩行者通行量についてももう少し掘り下げたい。平成29年と令和4年で調査地点は変えていないのか。
- ランドブレイク株式会社 調査方法・調査地点については変えていない。増えているところは人口等の影響もあると思われる。
- 森委員 JR側の地点では通行量が減っているが、阪急側の本通り商店街では増えている。この人の流れの違いはどのように考えたら良いか。このように分析し、理解したというところがあれば。
- ランドブレイク株式会社 個別の地点の分析になると、JR側の地点別の違いはあまり影響していないと思われるが、商店街側については地点周辺の店舗出店等による影響もあると思われる。駅方面よりまちなかに向かう人流が増えているが、マンション建設による人口増や自宅周辺で行動する人が増えている影響だと思われる。
- 加藤会長 その他何か意見はないか。それでは、いただいた意見を踏まえ、茨木市にて若干修正を加えていただく。修正後の案を協議会委員にメールにて送付するので、再度確認をお願いする。内容に微修正はあるが、フォローアップの報告書に関して、この内容で内閣府に提出しても問題が無いか決議を取る。本議案に賛成の委員は挙手をお願いする。
- 【決議】
- 賛成多数のため、本議案は成立した。フォローアップ報告書については、いただいたご意見を踏まえ茨木市で一部修正を行い、再度協議会委員にメールにて送付する。

(3) その他、閉会

- 加藤会長 その他、意見等がある方はいるか。
- 秋元副会長 中活計画の期間が令和7年3月で一旦終わる。とはいえ中心市街地の賑わいづくりは引

き続きやっていく必要があるので、何らかの違うものを市として提案していきたい。委員の皆様にもご意見等いただければと思う。どのタイミングでご提示できるかは事務局内で調整させていただく。

加藤会長 FIC ベースとしても非常に重要な問題である。

秋元副会長 次に繋げるよう計画させていただく。

加藤会長 それでは以上で、協議会を閉会する。次回の会議は決まり次第、連絡をする。

以上